



2023年12月13日

各 位

会 社 名： 新都ホールディングス株式会社  
代表者名： 代表取締役社長 鄧 明輝  
(コード番号:2776 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 半田 紗弥  
電 話 03-5980-7002

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当社グループ貿易事業の業績と今後の動向を踏まえ、下記のとおり、2023年3月17日に公表いたしました2024年1月期(2023年2月1日~2024年1月31日)の連結業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 連結業績予想の修正

2024年1月期通期連結業績予想値の修正(2023年2月1日~2024年1月31日)

	売上高	営業利益又は 営業損失(△)	経常利益又は 経常損失(△)	親会社に帰属する 当期純利益又は 親会社に帰属する 当期純損失(△)	1株当たり 当期純利益 又は1株当たり 当期純損失(△)
前回発表予想(A)	百万円 4,652	百万円 149	百万円 149	百万円 140	円 銭 4.38
今回発表予想(B)	6,321	△204	△178	△177	△5.56
増減額(B-A)	1,669	△353	△327	△317	—
増減率(%)	35.87	—	—	—	—
(ご参考) 前回実績 (2023年1月期)	4,019	△209	△198	△212	△7.57

#### 2. 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、売上面では、主力の貿易事業において、アルミニウムや銅を主体とする非鉄金属スクラップ取引や鉄スクラップ取引が拡大したことから、概ね順調に推移し、当初予想を上回る見込みとなりました。

一方で、収益面につきましては、売上高の伸長と併せ、当社グループ全体を通じ販売管理費の増大抑止に努めて参りましたが、当初の予想に反して、非鉄金属スクラップのリサイクル技術や廃棄物中間処理技術への機械化対応の遅れにより、付加価値の高い製・商品取引への取り組みが思うように進みませんでした。また、廃プラスチック加工分野における原材料は、昨今の円安基調や石油価格の高騰等に起因し依然として高止まりしており、日々製造技術開発の向上に努めてはいるものの十分な利益の確保には至りませ

んでした。

以上のような現状ならびに第4四半期期末に向けた経済・市場動向を総合的に判断した結果、今般、通期業績予想の修正を行うものであります。

さらに、期初の想定よりも為替が円安に推移した影響により、2023年3月17日に公表いたしました2024年1月期（2023年2月1日～2024年1月31日）の連結業績予想につきましては、上記のとおり修正いたします。

なお、2023年11月1日～2024年1月31日までの期間における想定為替レートは、1米ドル145円、1中国元20円を使用しております。

※本資料に記載されている業績予想数値等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上